

「売れる高岡産大豆」を生産しましょう!

令和4年産

大豆栽培こよみ

高岡市農業協同組合
富山県高岡農林振興センター

生育ステージ	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月									
	排水対策・土づくり	播種適期 発芽期	草丈・節数増加期	開花期	莢伸長期 子実肥大期	成熟期 収穫期										
作業名チェック	□排水対策 □石灰散布 □種子消毒 □播種	□1回目培土 □2回目培土 □畦間かん水	□1回目防除 □2回目防除	□収穫 □秋起し												
主な作業	額縁排水溝 心土破碎  まず早めに排水対策	石灰散布 種子消毒  播種作業は慌てず、確実に!	耕起碎土 施肥 播種  一連の作業は1日で実施! 1回目培土 1回目 本葉2~3葉 播種後20~25日 2回目培土 2回目 本葉4~5葉 播種後30~35日	1回目防除 2回目防除  大豆に発生する主な病害虫 うね間かん水で落莢を防止!	収穫準備 収穫  収穫適期内での収穫完了 次年度対策 心土破碎・額縁排水溝の設置 緑肥作物による地力づくり											
	 スプロケットの組合せを確認	 播種深度の目安は3cm程度	 株元までしっかりと土をかける	 晴天が3日以上続いたら入水 (開花期~9月上旬頃まで)	 難防除雑草類は確実に除去	品種ごとに莢の色や子実水分を確認し、適期に収穫しましょう! <table border="1"> <tr> <th>収穫開始の目安</th> <th>莢の色</th> <th>子実水分</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い</td> <td>えんれいのそら</td> <td>22%から</td> </tr> <tr> <td>シュウレイ</td> <td>20%から</td> </tr> </table>	収穫開始の目安	莢の色	子実水分	株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い	えんれいのそら	22%から	シュウレイ	20%から		
	収穫開始の目安	莢の色	子実水分													
	株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い	えんれいのそら	22%から													
シュウレイ		20%から														

土づくり

- ◎ 大豆は中性に近い土壌を好むので、pHは6.0~6.5を目標に必ず石灰質資材を施用しましょう。
- ◎ 地力の低下と加里を補うため、発酵鶏ふんを施用しましょう。

【土づくり・基肥量の目安(10aあたり)】

資材名	単作	麦跡	
苦土石灰	100~200 kg		
発酵鶏ふん	100~150 kg		
BB084 (10-18-24)	砂質~壤質土	20kg	35kg
	粘質土	15kg	30kg

※麦跡大豆は、麦稈の腐熟を促進させるため、基肥のチッソ成分を1.5~2kg増量してしてください。

種子消毒 (病害虫防除の徹底)

- ◎ 茎疫病などの苗立枯性病害やフタスジヒメハムシを防除するためクルーザーMAXXで種子消毒を行いましょう。

使用薬剤	処理方法
クルーザーMAXX	乾燥種子1kgあたり原液8ml塗沫

播種作業

- ◎ 播種深度は3cm程度に調整
- ◎ 目皿とスプロケットの組合せを確認
- ◎ 品種に応じた目皿を使用



B-2 B-22 えんれいのそら用 (10.5mm) B-3 シュウレイ用 (12.0mm)

「えんれいのそら」において、播種機の調整等を行っても目標とする播種量が投下されない場合は目皿B-22を使用しましょう

えんれいのそら 播種量の目安 条間 80cm

【目皿B-22の場合】

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.5~6.3	14~16	14	9~10
6月中旬	6.3~7.1	16~18	13	10

【目皿B-2の場合】

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.5~6.3	14~16	10~11	13
6月中旬	6.3~7.1	16~18	9~10	14

* 大粒種子の百粒重3.5, 6g、苗立率90%の場合

シュウレイ 播種量の目安 条間 80cm 目皿B-3の場合

播種時期	播種量 (kg/10a)	栽植本数 (本/m ²)	スプロケット	
			目皿側	車輪側
6月上旬	5.3~6.6	12~15	10~11	11
6月中旬	6.6~7.9	15~18	10	13~14

* 大粒種子の百粒重3.9, 4g、苗立率90%の場合

除草剤散布

イヌホオズキ類にはプロールプラス、ラクサー、エコトップが効果的です。帰化アサガオ類にはサターンバアロが効果的です。

薬剤名	10a当りの散布量	使用方法	散布時期
サターンバアロ粒剤	4~6 kg	全面土壌散布	播種後発芽前 (雑草発生前)
トレファノサイド粒剤2.5	4~6 kg		播種後発芽前 (雑草発生前)
ラクサー粒剤	4~6 kg		
エコトップP乳剤	500ml 水100lで希釈	全面土壌散布	播種後発芽前 (雑草発生前)
プロールプラス乳剤 (*黄色着色注意!)	500ml 水100lで希釈		
大豆バサグラン液剤	100~150ml 水100lで希釈	雑草茎葉散布	大豆2葉期~開花期まで 収穫45日前まで
	300~500ml 水100lで希釈	畦間雑草茎葉散布	雑草生育初期~6葉期 収穫45日前まで
ポルトフロアブル	200~300ml 水100lで希釈	雑草茎葉散布	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで
バスタ液剤	300~500ml 水100~150lで希釈	畦間処理 株間処理	雑草生育期 (株間処理は大豆5葉期以降) 収穫28日前まで
パワーガイザー液剤	200~300ml 水100lで希釈	雑草茎葉散布 全面土壌散布	出芽前~大豆3葉期まで (雑草発始期~2葉期)

* 播種後の降雨で除草剤散布前に出芽した場合はパワーガイザーを使用しましょう。

病害虫防除

2回目の基本防除は1回目の14日後頃に行い、卵から孵った幼虫を確実に防除しましょう

基本防除	回数	薬剤名	10a当り散布量	防除時期	対象病害虫
基本防除	1回目	トライトレボン粉剤DL	3~4kg	8月6~15日頃 (開花後2~4週間頃)	紫斑病+カメムシ類
	2回目	Zポルトレボン粉剤DL	4kg	8月20~29日頃	紫斑病+カメムシ類
随時防除		ダントH粉剤DL	4kg	7月末~8月上旬	ウコンノメイガ
		トレボン粉剤DL	4kg	多発時	カメムシ類、アブラムシ、チョウ目幼虫

大豆乾燥施設 南条 TEL:31-4321
中田 TEL:36-0044

営農相談先 JA高岡営農センター TEL:63-7331
高岡農林振興センター TEL:26-8477